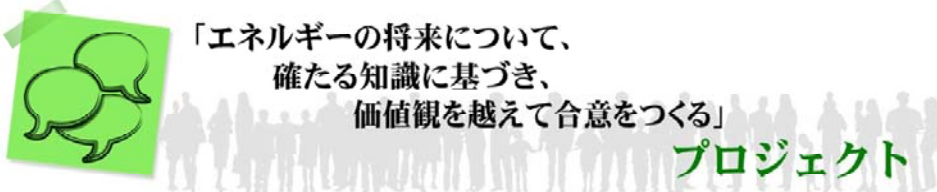


※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

振り返りの話し合い




「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」
プロジェクト

〔ステップ2 …30分〕

2050年の社会を実現するには

- 2050年に向けて、このエネルギーフローを実現するためには、
どうことをしていかなければならないのでしょうか。

しっかり考えよう！



木村：本当はステップ 2 をやろうと思いましたが、時間が来てしまったのでなしと
いうことにしたいと思います。

最後に、完成したエネルギーフローを見てもらって、1人1人が納得できるかどうか。で
きなれば、やっぱり私はこうしたい、っていうことを言ってもらって、あとは今回プロ
ジェクトを7回にわたってやってきてもらったので、7回やってきてどうだったかという感
想を一言ずつ言って、終わりにしていきたいと思います。

では、少し考える時間を取りたいと思います。

(各自考える)

木村：いかがでしょうか。それでは、最後は誰から行きましょうか？ 行きたそうなのでD
さんからお願いします。

D：はい。ええと、これを見た感想と、全体の感想もですか？

木村：はい、それも一緒にお願いします。

D：私の思っていたイメージ通りではないですけども、ある程度一致したのかなという感じですが。どういう将来になるのかなと皆さんと考えていったときに、そんなに生活レベルが落ちていなかったイメージだったのでですけども、レベルとしてはある程度向上した中で、2014年度と比べてみるとエネルギー的には減っているのですが、社会のあり方によって、ちゃんと省エネしつつ、でもレベルは下げないというのができるのではないかな、という期待や希望が持てたので良かったと思いました。

全体を統括したものとしては、今までは人任せというか、エネルギー問題は自分たちにはあまり関係ないというか、省エネはできるけれどもそんなに考えたことがなかったので、身近な人たちと一緒にこういうことを語れて、すごい貴重な経験だったかなと。これからも機会があったら考えていきたいなと思いました。ありがとうございました。

木村：ありがとうございます。では、Cさん。

C：今回の結果を見て、まず消費については、前回生活の仕方とかで意見が割れていたのですが、細かく話し合いができて、合意ができたのかなと思います。結構満足しています。発電の割合については、「火力」の割合がすごく大きいので、自分としてはもうちょっと全体に分散したかったかなと。そこはまだひとつひとつの発電に対するイメージが違うなと感じたので、もう1回考えたいなと思いました。

全体としては、専門家の方からお話を聞ける機会は自分にとって貴重だったので、本当にありがたかったです。違う考え方の方がいっぱいいたので、その話を聞いて、今回のこのエネルギーフローを作成するときも、自分の中で各エネルギーについての理解が深まったかなと思います。ありがとうございました。

木村：ありがとうございます。じゃあ、Gさん、お願いします。

G：私も全体的には結構納得しています。消費の面ではイメージが一致したのかなと思うのですが、原子力や火力をどう使うかというときに、私の中では、2050年までで考えればこれで納得なのですが、それより先まで使えるかと考えるとまた変わってくるのかなということで、これから2050年以降の話もできたらいいなと思いました。

全体としては、今までは漠然と考えていたものが、現実と理想という観点で私は見ていたのですが、現実を考えるとやっぱりこうなるのだなということが分かったので、すごい楽しかったです。ありがとうございました。

木村：ありがとうございます。では、Fさん。

F：このフローチャートは、どこに対しても納得のいくというか、合意した感じがあって、すごい良いものができたなと思います。ただ、もう1回振り返ったときに、原子力どうなのだろうというところはまだ完全に納得できていない部分もあります。あと、産業のところで、日本は第三次産業になるからってちょっと投げやりな感じのことを私も言ってしまって、それは日本の社会としてどうなのかというところは、エネルギーの問題ではなく考えていかなければいけないなと思いました。

全体としては、いろいろ専門家の方の話を聞いたのが良かったのと。あと、そういう大人の人たちの考えや見解を聞く機会はいろいろなところであると思うのですが、それに対して同じくらいの年の人たちがどう感じているのかが聞けて、面白かったです。ありがとうございました。

木村：ありががとうございました。では、Eさん。

E：私も、このフローチャートに関しては、皆の意見がまとめられたのかなと思っています。消費に関しては満足しているのですが、自分の最初の意見としては、もっと原子力をいっぱい使いたいなと思っていたので、原子力と火力のバランスとかも2050年以降を考えていく上でいろいろ問題点はあるのだなということで、それをもう少し考えていきたいなと思います。

全体を通して、今まででしたら原発反対と言っているその具体的な理由とか、その代替案も自分の中で漠然としていて、どう考えたらいいのか分からなくて、なるようになればいいかなと適当に考えていたところがあったのですが、専門家の方のお話を聞くことができ、いろいろ自分で考える機会にもなりましたし、ニュースで得られる情報だけでなく、身近な人たちがどういうふうに考えているのかとか、思ったよりも原子力を反対している人が多かったのだとか、そういうこともいろいろ知ることができたので、すごい貴重な経験ができたと思います。ありがとうございました。

木村：ありがとうございました。では、Bさん。

B：このフローチャートは、私は自分の意見をあまりゆずらずにゴリゴリ言ってしまったのもあって、割と満足しています。まあ現実的にはこんな感じで、希望を言えば再生可能を増やしたいなというくらいで、割と満足しています。

全体としては、日常生活を送っていると、原子力を反対する側とか躊躇する側の意見はよく耳に入ってくるのですが、原子力を進める側の意見はあまり聞く機会がなかったの、専門家たちの原子力をなぜ使いたいかという話を実際に聞けて、興味深かったので良

かったです。ありがとうございました。

木村：ありがとうございました。

最初にこのエネルギーフローを作れと言われたら難しかったと思うのですが、今日の皆さんの議論を聞いていると、本当にいろいろなところまで意見を広げてこのフローチャートを作ってくれていたのも、ああ良かったなと思いました。これが少しでも自分の生活とエネルギー問題が地続きになるきっかけになればありがたいな、と思って見ておりました。

あとは、今日この後 CO₂ の排出量とか、そういうところの計算もできればよかったのですが、今後はそういうところにも視野を広げながら、社会がどうなっていくのかということを考えるきっかけにしてほしいなと思っています。

引き続き、何かの機会にお願いすることもあるかもしれませんが、よろしくお願ひします。